

トランプ・ホワイトハウス内部でのクシュナー・クーデタ

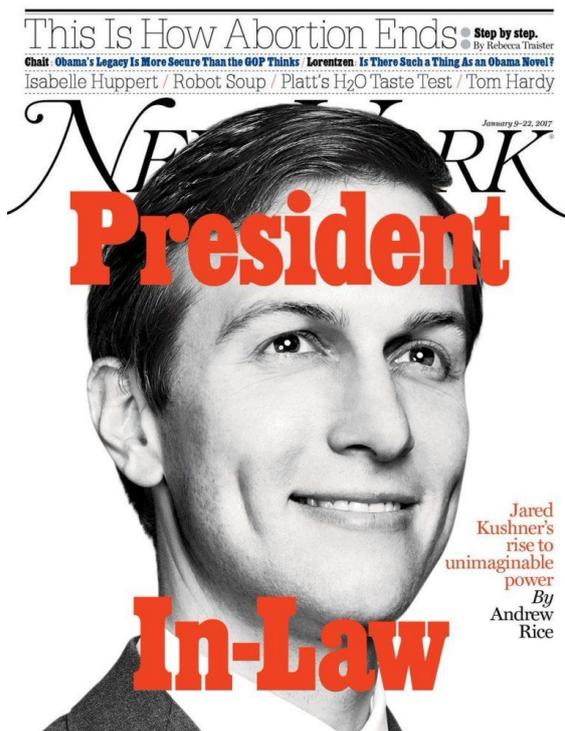
シオニスト・ネオコンがトランプ政権を完全に乗っ取る

【訳者注】これによって、トランプ大統領の見事な？変節の事情が、かなりの程度までわかる。結局それは、彼の性格的・人格的な欠陥と、意図的に送り込まれた娘婿ジャレド・クシュナーの魔手が結びついて、このような劇的な転換が起こったものと考えられる。

「結論」冒頭の「すべては変わった」という言葉は印象的で、幻想の消えたアメリカの新規まき直しを意味するが、この「結論」で言われていることは、チョスドフスキー教授「対外政策と“ニセ旗”」の紹介しているトランプの晩餐会での滑稽な芝居の意味を、的確に説明しているように見える。クシュナーという弱冠 36 歳の“大物”についても、その人的・国家的繋がりの説明によって、我々は目を開かれる。

SOTN (State of the Nation)

April 13, 2017



きわめて密かでスローモーなクーデタが、ワシントン DC で進行している。その陰謀の主たちは、ドナルド・トランプがホワイトハウス執務室に足を踏み入れるずっと前から、その西ウィング [大統領執務、秘書などの区画] を確保していた。

この今も進行中のクーデタが、かなり静かな出来事だったのは、トランプ自身の家族の内部で、初めに起こったからである。この転覆の第一動者は、大物シオニスト・ネオコンの Jared Kushner である。彼の妻——イヴァンカ・トランプ——もまた重要な役割を演じ、特に彼女の父の最も信頼されたアドバイザーになっている。いつもそうであるように、深層国家には、乗っ取りのあらゆる面を時計

のように実行して奉仕する、多くのエージェント（スパイ）が存在する。

「Steve Bannon がジャレド・クシュナーを暴く」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71047>

Jared Corey Kushner は、これまで民主党の主要な寄付者、世話役だった Charles Kushner の息子である。ジャレドは民主党に非常に忠実な存在で、不正な選挙財政陰謀とそれに続く隠ぺい罪で入獄したことがある。

ジャレド・クシュナー：使命をもった少年

<http://stateofthenation2012.com/?p=71274>

もしこの無血クーデタに、トランプ政権に深く潜入した一人の外からのエージェントがいるとすれば、それは筋金入りのシオニスト・ネオコン、ジャレド・クシュナーである。36歳という異常に若い年齢にもかかわらず、彼の青年期の経験は、過激派シオニズム推進運動に深く関わっている。

「トランプの女婿が過激派シオニストの資金を出している」

<http://stateofthenation2012.com/?p=70816>

クシュナーは大学時代に、ユダヤのシオニズムを唱道するための訓練を与えられた。彼が、大学にその本拠のあったハバド (Chabad) に関わったことは、彼の基礎を築くために特に重要だった。「ハバド・ハウス」は、シオニスト過激派の延長施設としてよく知られている。情報サークル内では、緊急事態が生じたときに、世界中のハバド・ハウスがイスラエルのスパイ (特に悪名高い Sayanim) に安全な港を提供することは、共通の知識である。

「ハバド・ハウスは犯罪活動の歴史をもっている」

<http://themillenniumreport.com/2017/04/chabad-houses-have-history-of-criminal-activity/>

Chabad Lubavitch セクトはきわめてラディカルな組織で、ユダヤ民族には圧倒的に都合のいい、独断的な終末予言を信奉している。しかし彼らの本当の仕事は、モサド [イスラエルの情報局] の延長として機能していると思えるメンバーによって、よりよく理解されている。彼ら自身の説明では宗教的だが、ワシントン DC にいるハバド・ハウスの指導者 Levi Shemtov は、ワシントン政治界隈内部の最大の政治的活動家の一人である。

トランプ一族であるジャレド・クシュナーの「ハバド・ルバヴィッチ」セクトへのつな

がりが、彼のドラマティックな U ターンの原因だろうか？ このセクトは、予言された第 3 次世界大戦を意図的に醸成しようとしている。

(ソース : 「クシュナーの一族はユダヤ至上主義終末カルトに属している」

<http://themillenniumreport.com/2017/04/kushners-belong-to-jewish-supremacist-doomsday-cult/>

“アドバザー” ジャレド・クシュナーにおいて、すべてはトランプ一族の内部に戦略的に位置し、最終的にホワイトハウスの全面的な支配を勝ち取ろうとしている一人の人間を指している。彼は 2017 年 4 月 13 日の時点で、その高邁な目標をほとんど達成したように見える。しかし本当のところ、彼は誰のために働いているのだろうか？ 彼の注意深く組み立てられた政治的ネットワークが、その物語を語っている。

「ジャレド・クシュナー：その強力な政治的パートナー」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71041>

トランプ政権の乗っ取りがいかに完全であるかを、更によく理解するために、私は次の 2 つの洞察力ある暴露記事をお勧めする。それらは、今 “クシュナー・クーデタ” と言われるものに、それぞれ異なった、しかし肝要な観点与えている。

「ジャレド・クシュナー：36 歳の子供が西ウィングを乗っ取る」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71240>

クシュナー：一人のシオニスト・ネオコンがホワイトハウスを経営」

<http://stateofthenation2012.com/?p=71224>

ソロスのインサイド・マン

右翼は、ジャレド・クシュナーが、トランプ・チームの内部に植え付けられた、民主党のインサイド・マン [潜入スパイ] だったということに気づくべきだった。結局のところ、クシュナーと彼の兄弟ジョシュアは、“自由主義のゴッドファーザー” ことジョージ・ソロスから、2 億 5,000 万ドルを受け取っていたのである。

「ジョージ・ソロスが、ジャレド・クシュナーのベンチャー幹部団に、2 億 5,000 万ドルを援助」 <http://themillenniumreport.com/2017/04/george-soros-backed-jared-kushner-venture-cadre-with-250-million/>

したがって、ドナルド・トランプのしばしば繰り返された選挙綱領の重要な項目が、政治的な薪に変えられてしまうのは、時間の問題だった。4月6日のミサイル攻撃は、シリア戦争に再び火をつけるために意図的に演出されただけでなく、それはこの大統領の国内アジェンダを後回しにしてしまった。[オバマによる] 盗聴仕掛けスキャンダルという大きな問題さえ、都合よく一面から押し除けられ、今ほとんど忘れ去られそうになっている。

“紫革命” [クリントン側の革命] の増してくる脅威は、トランプに、彼の最も重要な選挙の約束を放棄または軽視させるように、意図的にねつ造されたものだった。主流メディアのフェイク世論調査が、彼の人気指数を前例のないほどに落とさせたのは、トランプ・チームに働きかけて、劇的な対外政策の転換を促すためだった。戦争の売りつけは、ほとんど常に、ニセの愛国主義を煽り立てて、現アメリカ大統領への反射的な支持をつくり出す。

「ドナルド・トランプは“娘のイヴァンカに説得されて”シリアへのミサイル攻撃を行った」
<http://stateofthenation2012.com/?p=70808>

主流メディアですら、トランプを説得してシリアへの不法ミサイル攻撃をさせたのは、娘のイヴァンカだったと報じている。夫ジャレドの過激なユダヤ・シオニズムへの、彼女の宗旨替えを考えれば、誰がイヴァンカに影響を与えたかは明らかである。

クシュナー大統領万歳！

結論

すべては変わった。

このような悪辣で逃れようのない、シリアに対して犯された戦争犯罪を、今後4年間、首に懸けて歩くトランプは、難局に立たされる。彼は、一つの致命的な極端に向こう見ずな大失態によって、自らの大統領職を殺してしまった。

これを境に、今後トランプが何をしようと、彼は自分を、病理的なウソつきで、信用できない者として証明してしまった。彼は同様に、自分の政権のスタッフをも一連のウソつきで固めた。トランプの、事実の証拠も何もなしに、盲目的に判断を下すやり方は、彼が良心も常識も持たない人間であることを明らかにしている。

この不幸な現実を与えられたアメリカ人民は、実質的に、再びリーダーを失ってしまった。

これに続いてやってくる混乱の中で、国家は、イスラエルのための更なる対外戦争へと駆り立てられるだろう。トランプは、“拡大イスラエル”計画のための、衰れた大道商人でしかない立場に追いやられてしまった。そして彼の、秀でた立場にいる娘婿は、テルアビブからの命令を取り次ぐメッセンジャー・ボーイにすぎない。(参照せよ:「新しいホワイトハウスの命令系統」 <http://stateofthenation2012.com/?p=71308>)

編集者注:

次の記事は、ジャレド・クシュナーの、したたかなジャーナリズムのアジェンダ、特に 2001 年 9 月 11 日のテロ攻撃に関する策謀を暴いている。彼はニューヨーク・オブザーバー紙の所有者であり発行者だが、彼はこれを 25 歳にして 1,000 万ドルで買った。シオニスト・ネオコンのアジェンダにとって、おそらく 9・11 の真実ほど危険な真実はない。これが、オブザーバー紙が一貫して“Truthers”(9・11 真相追及者)を嘲笑する記事を書き寄せてきた理由だろうか? 結局のところ、彼らのもっている膨大な決定的証拠には、**イスラエルを直接 9・11 ニセ旗作戦につなぐ**、深い研究と誠実な調査が含まれているのである。

「トランプの女婿は 9・11 トゥルーサーへのバッシング記事を書き寄せている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=36419>

——以上、数点の参考文献省略